

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●松山弘平騎手がJRA通算500勝を達成

6月16日(土)の3回阪神5日・第3レースではセトノシャトルが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、現役34人目となるJRA通算500勝(7121戦目)を達成しました。

●須貝尚介調教師がJRA通算300勝を達成

6月16日(土)の3回東京5日・第4レースではアグリッパーバイオが1着となり、同馬を管理する須貝尚介調教師(栗東)は、現役62人目となるJRA通算300勝(延べ2755頭目)を達成しました。

●若手騎手招待レースに参加の富田暁騎手は13着

6月17日(日)のディアヌ賞(仏オークス/G1)当日、フランスのシャンティイ競馬場で行われた若手騎手招待レース「ロンジン・フューチャー・レーシング・スター賞」にJRA代表として参加した富田暁騎手(栗東・木原一良厩舎)は、エターナルギフトに騎乗して14頭立て13着という結果でした。なお1着馬は昨年このレースを制しているポーブレオ、鞍上はモロッコの女性ジョッキー、ジネブ・エル・ブリオール騎手でした。

●大下智騎手が引退

大下智騎手(栗東・池添学厩舎)は、6月20日(水)をもって騎手を引退しました。JRA通算成績は825戦17勝で、今後は池添学厩舎で調教助手となる予定です。

●アデイインザライフ、ダノンプラチナの競走馬登録抹消

2016年新潟記念(GⅢ)の勝ち馬アデイインザライフ(牡7歳/美浦・萩原清厩舎)は、6月14日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は16戦6勝で、今後は静岡県御殿場市の御殿場オリエント馬事センターで乗馬となる予定です。2014年朝日杯フューチュリティS(GⅠ)などの勝ち馬ダノンプラチナ(牡6歳/美浦・国枝栄厩舎)は、6月20日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績14戦5勝・海外1戦0勝で、今後は南アフリカ共和国にて種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが船橋で開幕

2018ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは6月19日に船橋で開幕し、第1戦は山本咲希到騎手(北海道)、第2戦は北野壱哉騎手(大井)が優勝しました。

●高知優駿はスーパージェット(佐賀)【各地の主要3歳重賞】

高知優駿(6月17日、高知、1900米)は、中団から差を詰め、直線で外から伸びた5番人気の佐賀からの遠征馬スーパージェット(牡、父カネヒキリ)がゴール前で差し切り、九州ダービー栄城賞に続いて重賞2連勝。北海優駿(6月20日、門別、2000米)は、後方から内を通過して追い上げた8番人気のカツゲキジャパン(牡、父アドマイヤジャパン)が直線の競り合いを制し、単勝1.2倍という圧倒的な支持を集めた北斗盃の覇者サザンヴィグラスは7着に沈んでいます。

●連覇を目指すケイティブレイブ、6月27日の帝王賞(大井)

帝王賞(JpnⅠ、6月27日、大井、2000米)は、昨年の覇者ケイティブレイブ、ゴールドドリーム、アポロケンタッキー、サウンドトゥルー、アウオーディー、オールブラッシュ、テイエムジンソクの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1仏オークス〜イギリスからの遠征馬ローレンスが接戦制す

6月17日に仏シャンティイ競馬場で行われたG1ディアヌ賞(仏オークス、芝2100米)は2番手でレースを進めたイギリス調教馬ローレンス(牝3歳、父シユーニ)が残り400米を切って先頭に立つと、そこからよく粘って、最後はG3グロット賞の勝ち馬ミュシミアミカの追い上げをクビ差退けて優勝しました。ローレンスは昨年10月のG1フィリーズマイル(芝800m)でディーブインパクト産駒のセプテンバーをハナ差で下してG1初制覇。今季初出走となった5月6日のG1英1000ギニーでは2着に終わりましたが、続く5月27日の前走G1サンタラリ賞(芝2000米)を短アタマ差で制してここに臨んでいました。鞍上のP.マクドナルド騎手、管理するK.パーク調教師はともにこのレース初制覇です。

●G1スティーヴンフォスターH〜パブルがG1初制覇

6月16日に米ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG1スティーヴンフォスターH(ダート900m)はM.グティエレス騎乗のパブル(牡4歳、父クリエイティヴコース、D.オニール厩舎)が4番手追走から直線入り口で先頭に立って3馬身 $\frac{3}{4}$ 差の快勝。6度目の挑戦で、念願のG1初制覇を果たしました。